


CASBEETM すまい[戸建] 評価結果

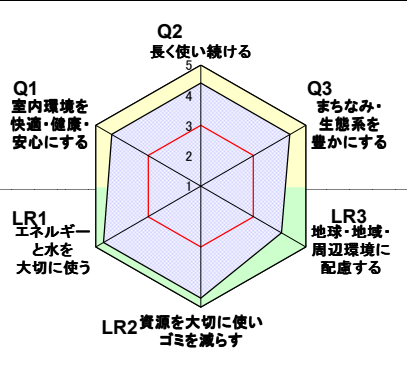
■使用評価マニュアル: CASBEE-すまい(戸建)(2007年版) ■使用評価ソフト: ASBEE-H(DH)_2007(v1.1)

1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	木造ドミノ徳島展示場		仕様等の確定状況	建物の仕様 持ち込み家電等 外構の仕様	確定 確定 確定
竣工年月	2010年1月	竣工	〈備考〉		
建設地	徳島県徳島市北矢三町2丁目				
用途地域	第1種住居地域	確定			
省エネルギー地域区分	IV				
構造・構法	木造・軸組構法	確定	評価の実施日	2010年1月7日	
階数	地上2F		作成者	元木康浩	
敷地面積	220 m ²	確定	確認日	2010年1月10日	
建築面積	69 m ²	確定	確認者	元木康浩	
延床面積	132 m ²				
世帯人数	4	確定			

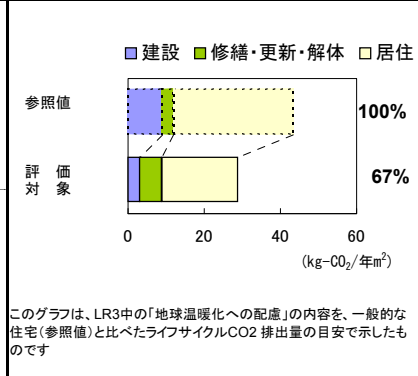
2-1 すまいの環境効率(BEEランク&チャート)



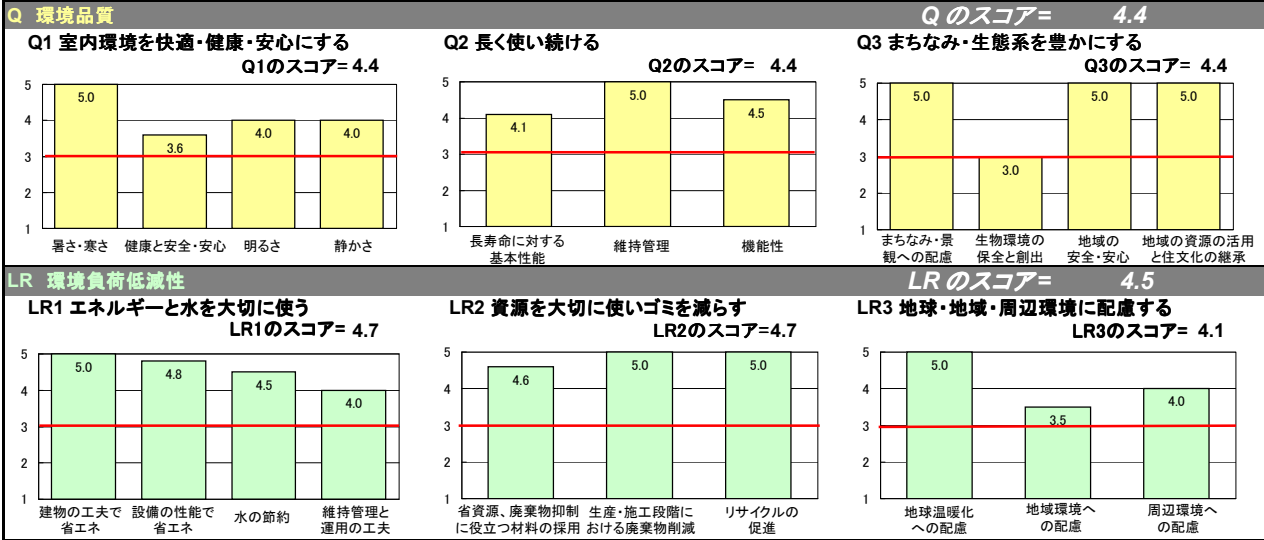
2-2 大項目の評価(レーダーチャート)



2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合	その他		
各項目はバランス良い結果が出ている。特にLR1エネルギーの削減では、外貼り断熱でQ値1.8の高い断熱性能に加え、OMソーラーや自然風の利用。太陽熱給湯とエコキュートの組み合わせでCO ₂ は33%削減になった。十分な広さのある敷地に加え、緑化率をあげ、地表面を舗装しない配慮をした。構造躯体や外壁やウッドデッキは地元徳島の杉を積極的に使用した。	長期優良住宅の認定		
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする 外貼り断熱工法で温熱環境4等級を満たしQ値は1.8である。日射対策は、夏はカーテンを閉めて日射の浸入を防ぐ。また、雨戸型ブラインドとオーニングで夏と冬の日射調整をしている。窓の開閉部を2方向につけ通風・排熱を促進する。冬はOMソーラーシステムを積極的に活用する。	Q2 長く使い続ける 長期優良住宅の認定をとっており、劣化対策等級3・耐震等級3を満たしている。耐力壁は外周部だけにし、内部はすべて取り外し可能な壁にして将来の間取り変更を容易にしている。ベランダの壁は杉板を使用して耐久性は劣るが、柱がアルミ製の不安定な構造ではない。維持管理が容易な構造となっている。	Q3 まちなみ・生態系を豊かにする オープン外構にして街並みに寄与している。食餌木を植栽している。芝生のエントランスと植栽で外溝面積の30%の緑化面積を確保している。住宅の構造躯体やウッドデッキは徳島杉を使用している。	
LR1 エネルギーと水を大切に使う 開口部はアルミ樹脂のサッシとLow-Eガラスで、OMソーラーにより暖めた空気を、床下の土間コンクリートに蓄熱材にして、暖房エネルギーを20%以上削減している。卓越風の方向を確認し風上側に窓を設けている。開放的な間取りで、建具は通風に配慮して引き戸を使用している。階段室の吹き抜け部分に頂側窓を設けて	LR2 資源を大切に使いゴミを減らす 構造躯体・床合板のすべてに徳島県の森林認証の山の木材を採用している。外溝材のウッドデッキも徳島県の森林認証の山の木材を採用している。プレカートの業者は、木の廃材を木材乾燥機のボイラーの燃料として使用している。	LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する 生ゴミ処理器・ゴミ分別ストックを設置しゴミ処理負荷の対策をしている。エントランスは芝を貼り熱的影響を低減している。駐車場は砕石を敷き、ウッドデッキの床下は、防草シートを貼って、地表面を舗装していない。夏の卓越風に対する住宅の後退距離も十分に取れている。	

- CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency (建築物総合環境性能評価システム)
- Q: Quality (すまいの環境品質), L: Load (すまいの環境負荷), LR: Load Reduction (すまいの環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (すまいの環境効率)
- CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい(戸建)の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどすべて省略するが、本シート上では簡略化のためHを省略した
- 「ライフサイクルCO₂」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
- 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q₁、Q₂、LR₁中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
- LCCO₂の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO₂計算シート」を参照された